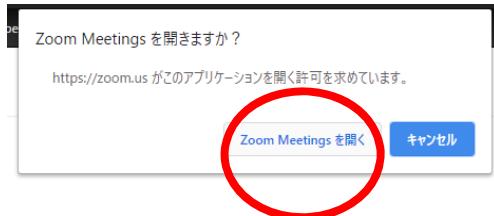


3 発表者マニュアル

3.1 Zoom入室

1. 例会参加方法（共通）で示した入室方法に従ってZoomミーティングに入室してください。



「Zoomに参加」ボタンをクリックすると上の画面が出るので、「Zoom Meetingを開く」をクリックしてください。

※ウェブブラウザを利用して参加される場合は、zoomアプリがインストールされている場合はアンインストールをしてください。ブラウザはGoogle Chromeをご利用ください。

入室時にはコンピュータのオーディオテストを実施してください。



3.2 音声

入室時の音声はミュートになっています。自分が発言するとき以外はミュートにしておいてください。質問したいときはいきなりマイクを使わず、先にチャットで質問や座長に指名され、発言の必要がある時のミュートを解除してください。質問したい時もいきなりマイクを使わず先にその旨をチャットで申請するか、参加者リストのウィンドウで手を挙げるかして、座長からの発言許可を得た後、質問してください。

い。

同じ部屋にスピーカーを用いた別の参加者がいると事故が起こります。複数PCで視聴する際には、一つでもマイクONになるとハウリング（キャンセルできないエコー）が起こります。ヘッドセットを利用した視聴を推奨します。

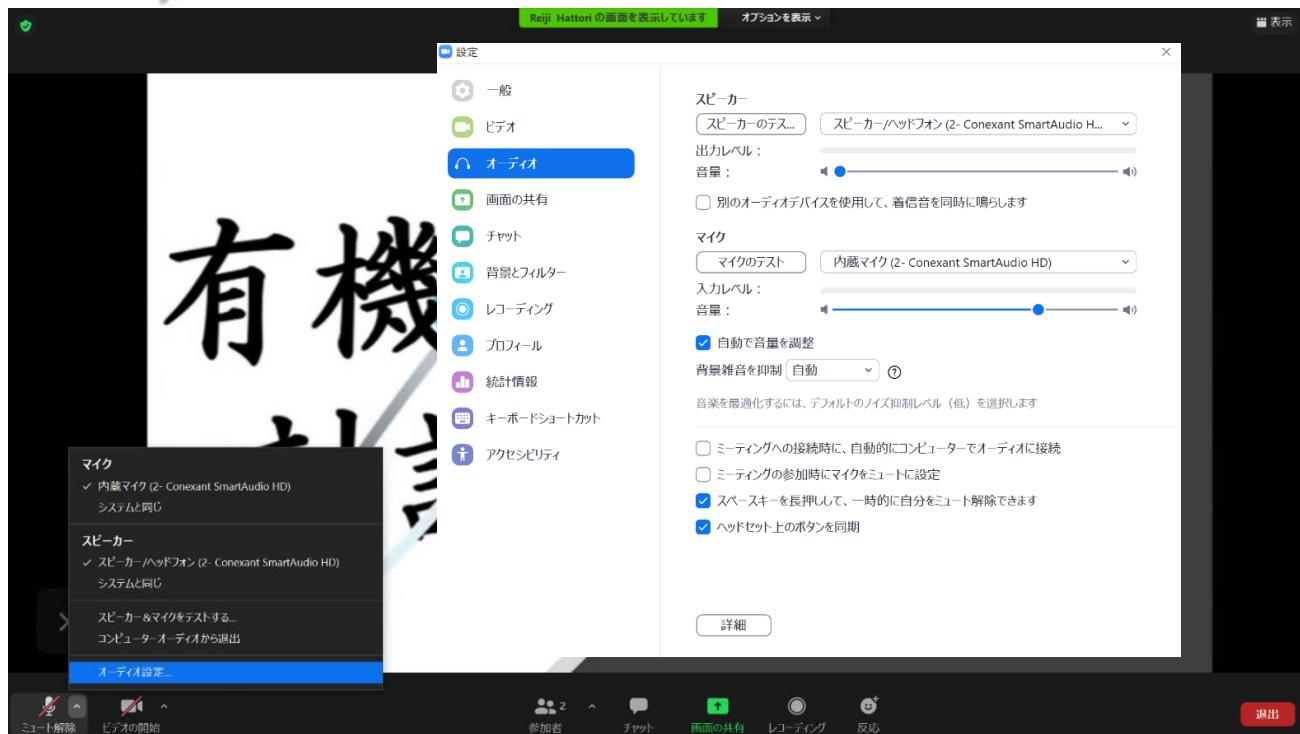


3.3 オーディオ設定

相手の音声が聞こえない。自分の発言が相手に聞こえていない等の指摘を受けた時はオーディオ設定で適切なスピーカー、マイクが選択されているか確認してください。適切な設定がされているのにうまくいかない時はミュートになっていないか、ヘッドセット側のスイッチがOFFになっていないか等もご確認ください。聞こえない、聞こえている等のやりとりはケースバイケースですがチャットを利用し、発表の進行を妨げないようお気をつけください。

有機EL討論会

3. 発表者マニュアル



3.4 参加者と名前の変更

【参加者】をクリックすると接続している参加者の一覧が表示され、最上段に自分自身が表示されます。

マイクやビデオの状態が判ります。

自分自身にマウスカーソルを合わせ【詳細】をクリックすると【名前の変更】が現れ、これを選択すると名前を変更できるようになります。

有機EL討論会においては、発表者は名前を S 1-1 : 有機太郎 (Taro Yuki) のように変更して、わかりやすくしてください。



3.5 質疑

講演に関する質問および事務連絡等はチャットを利用してください。

「チャット」をクリックすると右下にチャット用の画面が表示されます。事務的な連絡については、送信先「ホスト」を選択し、メッセージを入力します。

発表者、座長は質問に答えることができます。また、チャットで送信先を全員とした場合は、すべての参加者に内容が公開されるので、参加者は互いの質問に答えることができます。

3.6 ビデオの開始、参加者



登壇者は、発表順が来たら、ビデオとマイクをオンにしてください。発表時以外、映像送出は行わないでください。

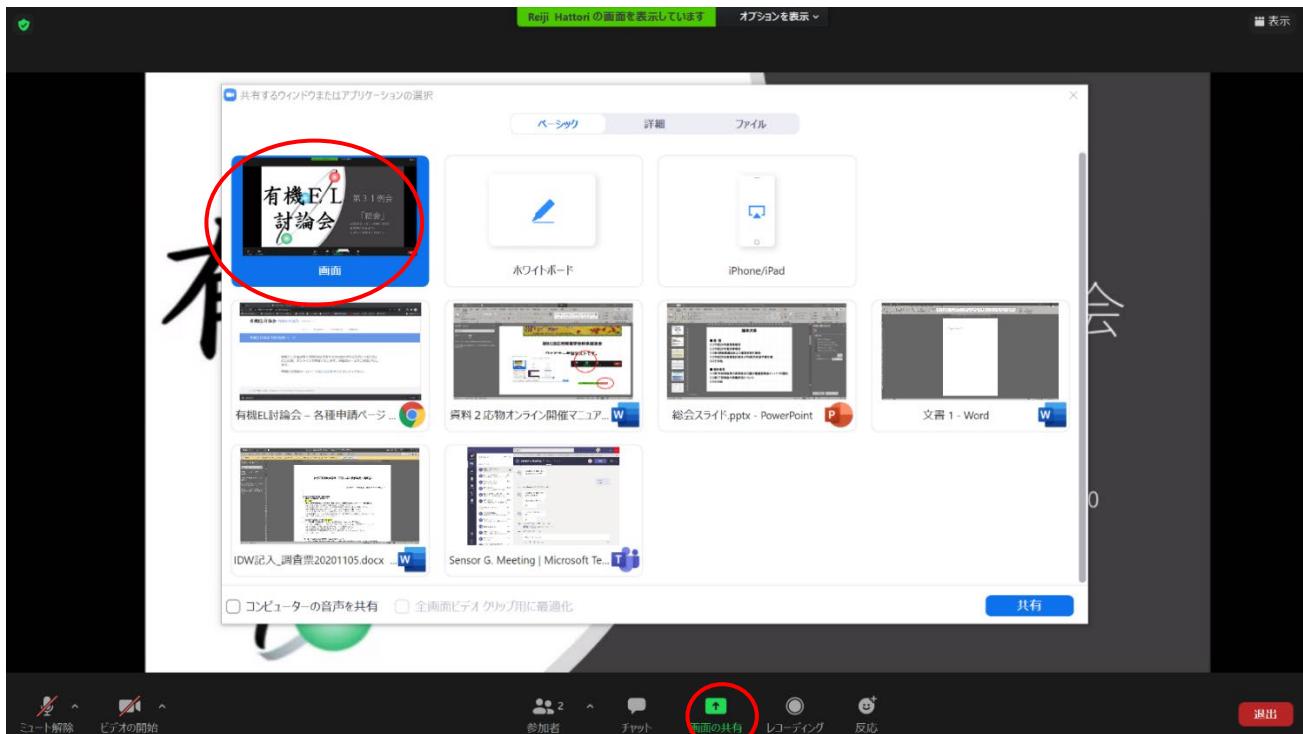
「参加者」をクリックすると参加中の参加者を確認できます。



3.7 画面共有

講演者は共同ホストに割り当てられますので画面が共有でき、自分の発表の順番がきたら画面共有をしてください。自分の順番がくるまでは絶対に画面共有をしないでください。その時発表中の発表者の画面共有が停止されてしまいます。

パワーポイント等の資料はフルスクリーンモード等にして参加者が見やすいようご配慮ください。発表が終わったら共有を停止してください。



3.8 講演者用プレゼンテーションタイマーのピン止め

サムネイルビデオに講演者用プレゼンテーションタイマーが表示されます。参加者が多い場合、下のほうにあって消えてしまうことがありますので前もって下記のようにピン止めしておいてください。



3.9 動画再生時の音声共有

動画を再生し、その音声を共有する方法の一例として、

- コンピュータの音声を共有
- 全画面ビデオクリップ用に最適化

の両方にチェックすると参加者と動画再生時の音声を共有できます。

※ 動画の再生はトラブルになりがちなので必ず事前にテストをおこなってください。音声や映像がとぎれとぎれになる場合が多々あります。

コンピューターの音声を共有 全画面ビデオクリップ用に最適化

共有

↑画面を共有 のボタンを押した後、出てきます。

3.10 発表終了

発表が終わると、「共同ホスト」から「参加者」に変更されます。引き続き「参加者」としてセッションが閲覧いただけます。

3.11 ポスター討論

有機EL討論会 第3回例会 ポスターセッション会場

oVice ヘルプデスク oViceヘルプwiki oVice 有機EL討論会 Japan OEL Forum

ボスターまでお近くください

S2-1 「サイクリック・ポリカントリードイエヌルギー逆電荷子分子による創成分子有機半導体の電子移動力の制御」
久保 美治（千葉大学 大学院総合理工学府）

S2-2 「質量分析と種種触媒を併用したOLEDの劣化抑制研究」
津田 啓介（株式会社東レリサーチセンター）

S4-1 「界面アップコンバージョンが可能にする有機ELの発光電圧制御」
伊藤 誠一郎（分子科学研究所）

S4-2 「接着発光層を有する高効率・長寿命色選択OLED」
高村 和樹（出光興産株式会社 電子材料部）

S4-3 「有機ELデバイス製作用熱導加熱式小型蒸着装置の開発」
末永良吾（島州産業株式会社）

S5-1 「フェネントロン誘導体を電子注入層に用いた有機EL 優れた発光性」
田中純一（山形大学大学院有機材料システム専攻）

S5-2 「マルチスケールシミュレーションによるドープ系有機EL 発光層の電荷輸送解析」
佐藤 仁義（京都大学 化学研究所）

S7-1 「量子化計算による多層共焼TADFメカニズムの解明」
志津 功将（京都大学 化学研究所）

S7-2 「Deep-Blue Thermally Activated Delayed Fluorescence Emitters Aimed at Narrow Fluorescence-like Emission」
チャン チンユク（九州大学 最先端有機光工学科）

S7-3 「熱導体面効率で効率的な近赤外発光ダイオードに向けたオルガノランタンズ堆積エピタキア」
李世寧（九州大学 最先端有機光工学科）

講話室(8人用)

- ① ポスター討論の時間になりましたら、事務局より送られてきたメールにあるoViceのURLをクリックしoViceにお進みください。
- ② ご自身のアイコンをマウスで移動させ、お好みのポスターまでお進みください。発表者に近づくと自動的に音声が聞こえます。もし、何も聞こえない場合はご自身のスピーカーがオフになっている可能性がありますので、PCのスピーカーをオンにしてください。それでも聞こえない場合は、スピーカー設定が適切でない可能性があります。①にある設定ボタンをクリックして、スピーカー設定をお確かめください。
- ③ ご自分が発言されたい場合は、①のマイクボタンでミュートを解消してからお話しください。

3.12 退出

セッション会場から退出する時は「退出」をクリックしてください。



3.13 発表時の注意

3.13.1 場所の確保

他の人の会話が聞こえたり、電話がかかってきて中断したりしなくても良いような場所を確保してください。また、電源の消費が大きいので、途中でバッテリーがなくならないように注意してください。

3.13.2 進行状況の定期的な確認

長時間連続して発言する場合、途中でネットワークの調子が悪くなったりして声が聞こえなくなったりしていないか、定期的に参加者の様子やチャットを確認することが望ましいです。発表中の質問を受け付け

る場合は、特に注意願います。

また、ネットワークが細いと、画面共有している場合に、映像の切り替えが大きく遅れることがあり、受信者側で音声での説明と画面の内容が一致しなくなることがあるようなので、注意が必要です。

3.13.3 音声のミュートコントロール

質疑応答など音声でやりとりする場合、発表者側の音響設備に問題があると、他の参加者が発言している際にエコーをおこしてしまうことがあります。自分が発言していない間はマイクをミュートするよう心掛けてください。

3.13.4 ビデオの送信

発言している様子を参加者に的確に伝えるために、端末にカメラが付属している場合は、ビデオ送信する方がよいですが、ネットワーク帯域が細い参加者がいる等で通信が不安定なときは、カメラ映像のビデオ送信を停止してみて状況が改善するかを確認するなど臨機応変な対応が求められます。

3.13.5 共有資料等への配慮

他人の著作物の無断使用とならないよう、引用として出典を明確にすることはもちろんのこと、学会でのオンラインでの発表は自動公衆送信による再送信とみなされることを踏まえた内容の事前確認が必要です。

3.14 発表時の注意

3.14.1 プrezンタアプリの発表者モード

プロジェクタなどを利用する場合は、PowerPointなどで2画面を使い分ける発表者モードが利用できて便利ですが、ビデオ会議でも同様の機能を利用したい場合は、同様に外付けディスプレイを用意しておくと良いです。

3.14.2 画面共有

- Zoomでは、発表時に自分のPCの画面を他の参加者と共有することができます。共有を開始する前に利用したいアプリを起動しておいてください。有機EL討論会のオンライン開催では全ての登壇者に画面共有を許可しています。
 - 利用する環境によっては、全画面の共有と、特定のアプリのウィンドウの共有が選択できるので、状況に応じて使い分けてください。
 - マウスポインタでは見えにくいので、アプリのレーザーポインタ機能を使用してください。PowerPointでマウスカーソルを「レーザーポインタ」として使う方法はこちらを参照してください。
- Microsoft: マウスをレーザー ポインターに変更する

<https://support.office.com/ja-jp/article/%E3%83%9E%E3%82%A6%E3%82%B9%E3%82%92%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%82%B6%E3%83%BC-%E3%83%9D%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%81%AB%E5%A4%89%E6%9B%BC%E3%81%99%E3%82%8B-77367b36-d25b-4ed2-8c87-358bc216a1e0>

- 発表が終わったら速やかに共有を停止してください。

3.14.3 資料の事前共有

画面共有は、投影資料の撮影による送信よりは解像度が優れていますが、それでも小さい字が読み取れない等の問題があるため、配布可能な資料の場合は、事前に共有できるダウンロードリンクをZoomのチャット機能で伝えるなどすると効果的です。ただし、前述の著作権等の留意事項についてはさらに確認が必要です。